

greiner bio-one

# PICKUP

# RNA/DNA Purification and Cleanup Kits

## Fast-n-Easy Plasmid Mini-Prep Kit

### 製品概要

JenaBioscienceのPlasmid Mini-Prep Kitは高い精製度のプラスミドもしくはコスミドを回収でき、以下のアプリケーションに使用できます。

- シークエンス解析
- 制限酵素処理
- トランスフォーメーション

スピニングタイプで容易にかつ効率よくDNAを回収でき、少量のBufferでも少ないロスで溶出することができます。

フェノール抽出およびエタノール沈殿における時間を消費することなく、遠心法もしくは吸引法いずれかの方法を選ぶことができます。

このkitを用いて20 µgまでのDNAを回収することができます。

### キット内容

RNase A,  
Lysis Buffer,  
Activation Buffer,  
Neutralization Buffer,  
Washing Buffer,  
Elution Buffer,  
Binding Columns,  
2 ml Collection Tubes

製品番号	製品名	包装単位	価格 (税抜)
J204003	Fast-n- EasyPlasmid Mini-Prep Kit	250回	¥44,400

### 実験プロトコル



#### 1. サンプル調整

- 大腸菌溶液 (1-3 ml) を遠心によりペレット状にする



#### 2. サンプル溶解

- 1で調整したサンプルへ300 µlのLysis Bufferを添加し、ピペティングもしくはボルテックス
- 300 µlのNeutralization Buffer (RNaseを添加済) を添加し、4-6回転倒混和
- 10,000xG, 5分間遠心



#### 3. カラムの平衡化

- 100 µlのActivation Bufferをカラムへ充填する
- 10,000xG, 30秒間遠心



#### 4. サンプルをカラムへ充填

- 2で調整したサンプル溶液をカラムへ充填
- 10,000xG, 30秒間遠心



#### 5. カラムの洗浄

- 通過した液を捨て、500 µlのWashing Bufferを添加し、10,000xG, 30秒間遠心 (200 bp以上のDNAかつ高精製度のDNAが必要な場合) 通過した液を捨て、再度700 µlのWashing Bufferを添加し、10,000xG, 30秒間遠心
- 通過した液を捨て、空の状態ですべて10,000xG, 2分間遠心



#### 6. DNAの溶出

- 新しいチューブをセットし、Elution Bufferを30-50 µl添加後1分間室温でincubation
- 10,000xG, 1分間遠心



# Total RNA Purification Kit

## 製品概要

JenaBioscienceのTotal RNA Purification Kitは迅速に高い精製度で高収量のtotal RNAを回収できます。下記のサンプルから回収可能です。

- 血液
- 動物、植物の細胞や組織
- バクテリア
- ウイルス、ウイルス感染組織

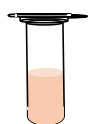
回収したRNAはRT-PCR、リアルタイムRT-PCRおよびノーザンブロットなど様々なアプリケーションに使用できます。

## キット内容

Lysis Buffer,  
First Washing Buffer,  
Second Washing Buffer,  
Elution Buffer,  
Spin columns,  
2ml Collection Tubes,  
Blood Wash Buffer

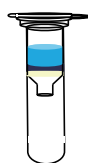
製品番号	製品名	包装単位	価格 (税抜)
J210003	Total RNA Purification Kit	250回	¥91,900

## 実験プロトコル



### 1. サンプル調整

- 細胞、組織もしくは血液等をlysis bufferにて破碎および溶解



### 2. カラムの平衡化

- 100  $\mu$ lのActivation Bufferをカラムへ充填する
- 10,000xG, 30秒間遠心



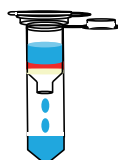
### 3. サンプルをカラムへ充填

- 1で調整したサンプル溶液に300  $\mu$ lのイソプロパノール (もしくは細胞溶解液の0.6倍量)を混合
- 混合溶液をカラムへ充填し、10,000xG, 30秒遠心



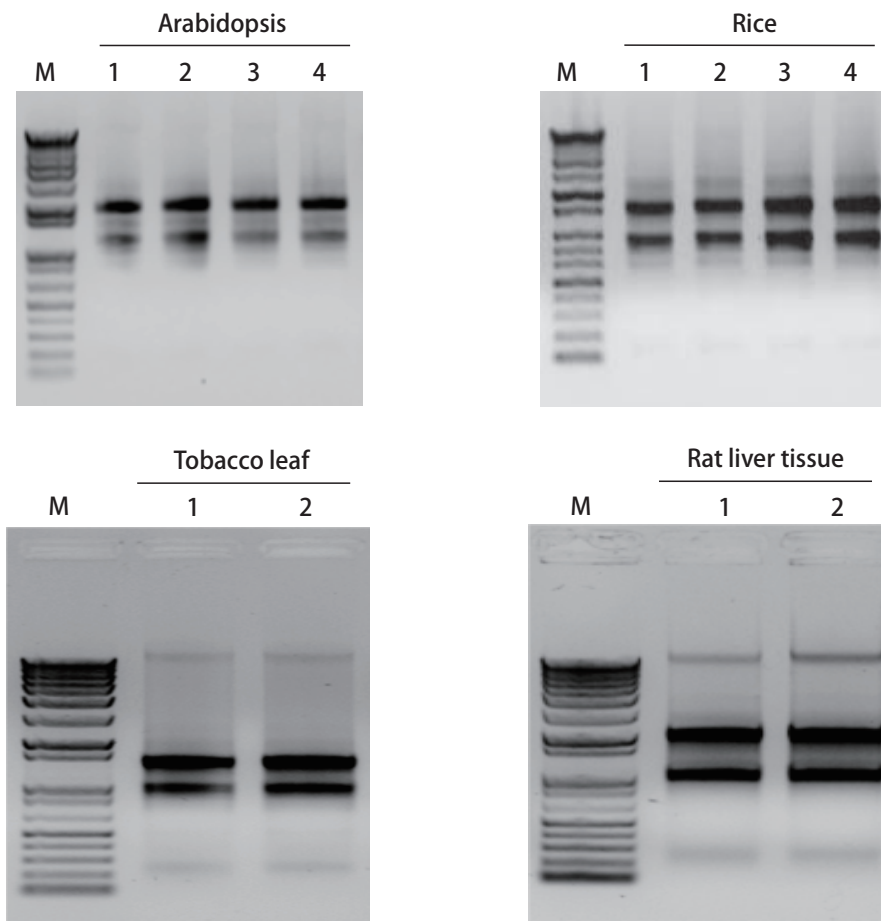
### 4. カラムの洗浄

- 通過した液を捨て、700  $\mu$ lのBlood Wash BufferもしくはFirst Wash Bufferを添加し、10,000xG, 30秒遠心
- 通過した液を捨て、700  $\mu$ lのSecond Wash Bufferを添加し、10,000xG, 30秒遠心
- 通過した液を捨て、空の状態再度10,000xG, 30秒遠心

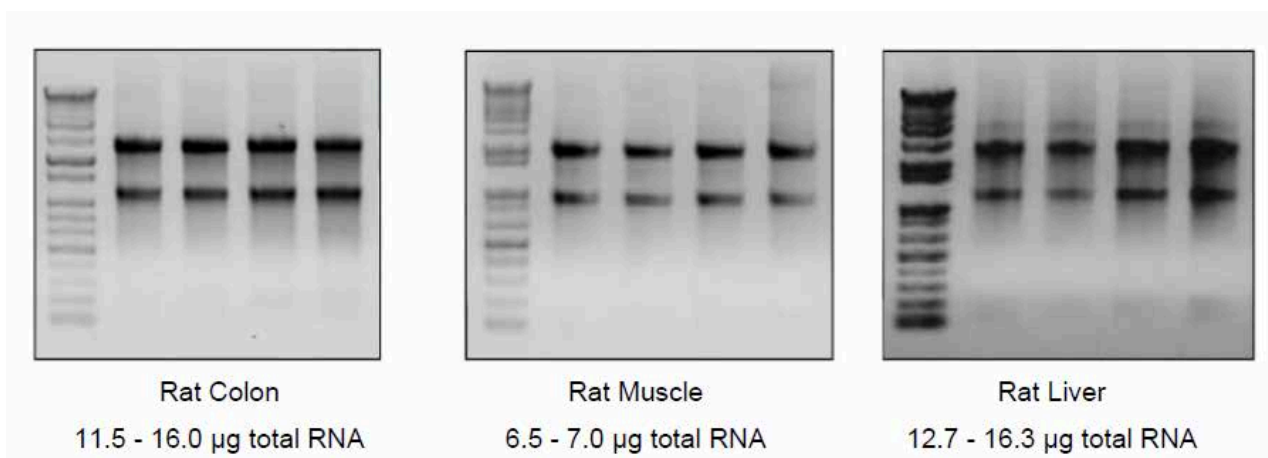


### 5. RNAの溶出

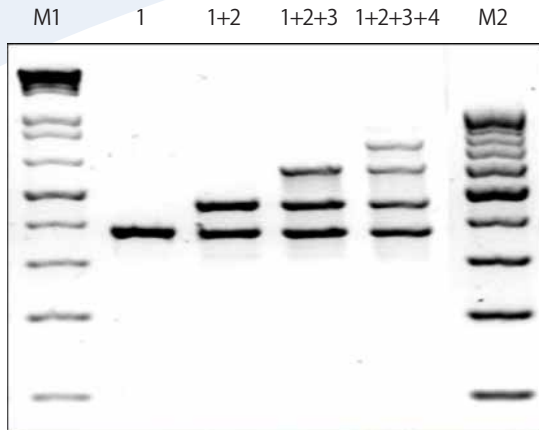
- 新しいチューブをセットし、Elution Bufferを40-50  $\mu$ l添加後1分間室温でincubation
- 10,000xG, 1分間遠心
- 回収したRNAを-20°Cもしくは-80°Cにて保存



動物および植物組織30 mgからTotal RNA Purification Kitを用いてtotal RNAを抽出した。抽出後、1 mlのRNAを1%アガロースゲル電気泳動を行いました。

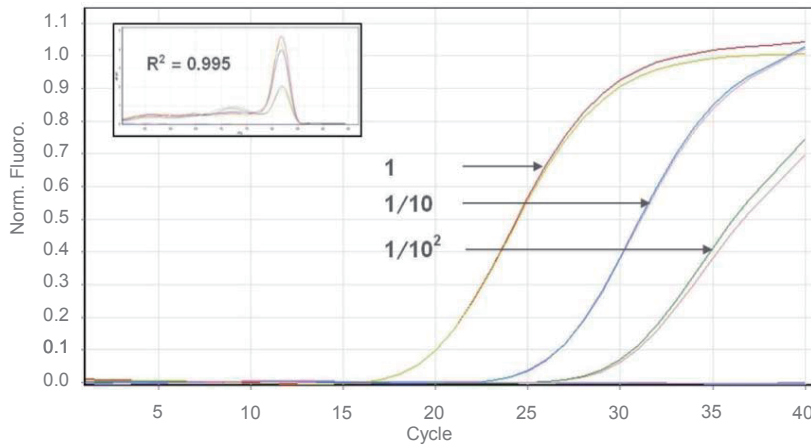


50 mgのラット大腸、筋肉もしくは肝臓組織からTotal RNA Purification Kitを用いてtotal RNAを抽出した (図表記の数値)。抽出後、RNAをアガロースゲル電気泳動を行いました。

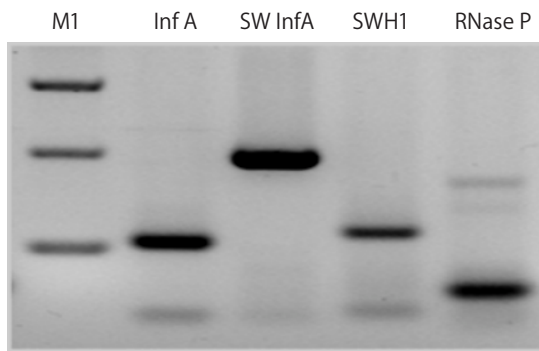


トウガラシからTotal RNA Purification Kitを用いて total RNAを回収し、種々の遺伝子をone-step RT-PCR (PCR-507)にてそれぞれの遺伝子の発現を評価しました。

Lane 1 : CaAPX1 (374 bp)  
Lane 2 : CaActin (461 bp)  
Lane 3 : CaPF1 (615 bp)  
Lane 4 : Cadhn1 (761 bp)



A型肝炎ウイルス陽性血清からRNAを抽出し、リアルタイムRT-PCRにてウイルスRNAを定量した。Total RNAを10倍希釈し、評価しました。



ブタインフルエンザウイルス感染患者の鼻腔内からサンプルを回収後、RNAを抽出し、one-step RT-PCRより感染を評価しました。それぞれ、influenza A (Inf A, 106 bp)、Swine influenza A (SW Inf A, 195 bp)、Swine Influenza H1 (SW H1, 116 bp)、RNase P (internal control, 65 bp)の遺伝子の発現が認められました。

## 株式会社グライナー・ジャパン

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-17-44

TEL 03-3505-8875 FAX 03-3505-8945

URL [https://www.gbo.com/ja\\_JP.html](https://www.gbo.com/ja_JP.html)

グライナー・ジャパン取扱店

### ■お願いおよび注意事項

【価格】 価格は参考であり、販売店様からの実際の販売価格ではございません。実際の販売価格は、ご注文の際に販売店様にてご確認ください。記載の価格は2021年3月1日現在の価格です。予告なしに改定される場合がございますので、ご注文の際にご確認下さい。記載の価格には消費税は含まれておりません。

【使用範囲】 記載の商品は全て、「研究用器材・機器」です。人や動物の医療用としては使用しないよう、十分ご注意ください。

Document Number 202103001